



職業奉仕入門



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

※訳注：「ロータリーの目的」（旧「ロータリーの綱領」）の日本語訳は、2012年に改訂されました。旧訳の全文は『2010年手続要覧』に掲載されています。

職業奉仕を明確に定義することは簡単ではありません。しかし、職業奉仕を一つの生き方として捉えているロータリアンも少なくありません。職業奉仕に対する理解を深め、クラブの活動と職業を通じて実践へとつなげるために、本手引きを参考としてご利用ください。

「職業奉仕」という概念

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。以下にいくつかの方法をご紹介します。

- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
- 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- 若者のキャリア目標を支援する。
- 専門能力の開発を奨励し、指導する。

職業奉仕に意欲と熱意を感じる人にとって、ロータリーほどその実践にふさわしい場はありません。職業奉仕はロータリーの真髄であり、ロータリーをほかの団体と分かつ要素でもあります。

行動しよう

本手引きには、職業奉仕を実践する方法や具体例が紹介されています。これらの活動や、類似した活動をクラブで実施することをぜひご検討ください。

職業分類

ロータリーに入会する理由はさまざまです。しかし、多くの会員は、特定の業種や専門分野における活躍が認められて入会します。ロータリーでは、この特定の業種や分野を、「職業分類」と呼んでいます。ロータリー・クラブの会員基盤は、各地域社会に存在するビジネスや職業を幅広く反映しており、これによって、クラブの活動や考え方に多様性がもたらされています。職業分類は、職業奉仕と切っても切り離せない関係にあります。ロータリアンは、ロータリーにおいて各職業を代表する一方で、各業界においてロータリーを代表しています。

行動しよう

- **ある職業分類を取り上げた例会プログラムを実施する**：特定の職業に関する発表（プレゼンテーション）を通じて、ほかの職業についてそれまで知らなかった内容や仕組みが学べるだけでなく、職業上のネットワークを築くことができます。また、ゲストや会員候補者を例会に招く上でも効果的です。
- **会員の職場訪問（ツアー）を行う**：人前で話すことが苦手な会員は、自分の職業について発表するより、職場訪問を行うことを好むかもしれません。クラブの運営に支障がなければ、時には会員の職場で例会を行うのも一案です。
- **職業に関連する親睦活動グループに参加したり、新たにグループを設立する**：ロータリー親睦活動は、共通の趣味や職業を持つロータリアンとその配偶者、ローターアクターによる国際的な取り組みです。医師、法律・弁護士、出版関係など、親睦活動グループの種類は多岐に渡ります。詳細はウェブサイト (www.rotary.org/ja/fellowships) でご覧ください。
- **奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす**：科学・医学分野の専門知識、機械分野の専門スキル、ビジネスを始めるためのアドバイス、財務管理の専門知識、人前で話したり文を書いたりするスキルなど、職業を通じて培った専門能力を活用して、地域社会に貢献することができます。

高潔性と倫理

高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することは、ロータリアンとして不可欠の要素です。その中で生まれたのが、「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

四つのテスト

「四つのテスト」は、1932年、シカゴ・ロータリー・クラブ会員で、1954-55年度に国際ロータリー会長を務めたハーバート J. テイラーにより発案されました。倒産寸前の会社を建て直す役目を担ったテイラーは、仕事における全側面において従うべき倫理的指針として「四つのテスト」を創り、このシンプルな哲学のおかげで、この会社は倒産を免れました。その後、1934年に国際ロータリーで採用されて以来、「四つのテスト」はロータリアンが倫理的行動を測る上での重要な物差しとして用いられてきました。このテストは、多くの言語に翻訳され、世界中でロータリアンにより奨励されています。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリーの行動規範

「ロータリーの行動規範（以前の「ロータリアンの職業宣言）」は、「四つのテスト」と並び、すべてのロータリアンが事業や専門職務において指針とできる、倫理的行動の枠組みとなるものです。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2. 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
4. 他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
7. ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、従業員、同僚、地域社会全体に対して模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。仕事に関連したあらゆる交流は、倫理的な行動を奨励する機会となります。ロータリアンは、日々の仕事において倫理を実践し、奨励することができます。

- 従業員の雇用や研修において、誠意、責任、公平さ、尊重について説明し、その重要性を強調する。
- 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。
- 顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂行し、思いやりと熟慮をもって行動する。

企業の社会的責任とロータリー

企業の社会的責任（CSR）は、事業が行われる地域社会と環境に対して、企業が責任を持つことを意味しています。持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）は、CSRの定義を、「倫理的に行動し、経済開発に寄与すると同時に、労働者とその家族、ひいては地域社会と社会全体における生活の質を改善するために、企業が継続的に取り組むこと」としています。社会倫理について2012年に発行されたある記事によると、現在、CSRには次のような明確な傾向があることが分かっています。*

1. **企業の事業分野と関連した寄付を行う**：企業の慈善活動を、事業内容と関連した社会問題に向ける。
2. **企業が後援するボランティア・プログラムに従業員が参加する**：仕事へのやる気を高め、企業が持つ社会的価値観を従業員と共有する。
3. **企業の社会的価値観とコミットメントを伝える**：ソーシャルメディアやその他の方法を活用する。

「ロータリー」という名称

ロータリーという名称は、創設当初、ローテーション（輪番）で各会員の職場を例会場としていたことに由来しています。この伝統は、現在もロータリアンが自分の職業をクラブに紹介するための優れた方法となっています。

* O'Keefe, Linda Novick. 2012. Social Ethics: A Peek Into 2012. Huffington Post, 4 April, www.huffingtonpost.com/linda-novick-okeefe/corporate-social-responsibility_b_1401187.html

ロータリー章典の第26.020.1項には、高潔性とCSRを重んじるロータリー組織の観点が説明されています。

- ロータリーは創設当初より、事業と専門職における高潔性を土台とする理念を築いてきた。ロータリー・クラブおよび個々のロータリアンは、職業奉仕に献身し、すべての取引において高い倫理基準を守るよう尽力する。これらのことは、ロータリーの目的（綱領）、中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）、四つのテスト、およびロータリーの行動規範にて要約され、世界各地で活動するロータリー・クラブおよびロータリアンによって実行されるものである。
- また、法人組織である国際ロータリーは、管理統括の透明性、財源および財的状况の適切な管理、および公正な労働慣行に対する献身をもって、組織の社会的責任に尽くすものである。

行動しよう

- 「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」について、例会で時間を割いて話し合う：特に、新会員や会員候補者にこれらの指針の重要性をしっかりと伝え、ロータリーでは高潔性が重んじられることを理解してもらうことが大切です。
- 職場で倫理に関する研修を行う：ロータリアンではないビジネスリーダーを招待するのも一案です。倫理的問題に対する実践的な解決方法を学ぶには、具体的な事例を紹介した上で、自由討論形式で研修を行うのが効果的です。
- 企業や専門職の人々を称える表彰を行う：従業員や顧客に対して、また地域社会において、高い倫理基準を実践している企業や専門職の人々を表彰します。
- 若者を対象とした作文やスピーチのコンテストを実施する：多くのクラブが、地元の中学生や高校生を対象に、「私にとっての四つのテスト」などと題したコンテストを実施しています。コンテストは、倫理と高潔性という概念について、若い人々に考えてもらうのに効果的な方法です。

職業研修と職業能力の向上

ロータリーの基本理念で仕事の重要性が強調されているように、仕事を通じて、人は尊厳のある暮らしを立てることができます。また、社会を構成する人々が、各自の才能と意欲を最大限に発揮すれば、社会は大きく成長します。このため、ロータリー・クラブの会員は、自らの職業的知識を向上する活動を通じて、また人々が雇用の機会を得られるよう研修を提供することによって、職業能力向上の推進に大きく力を注いでいます。

行動しよう

- **地域社会でロータリアン以外の職業人とのネットワークを広げる**：クラブでビジネス・ネットワークを広げる行事を行ったり、地域社会の職能団体の活動に参加したりしましょう。ネットワークを広げることで、会員候補者にクラブについて知ってもらえるだけでなく、専門知識や知り合いを広げることができます。
- **求職者を対象としたキャリア相談を行う**：世界的な不景気にある今日、才能ある多くの人材が職を探しています。このような人々がスキルを高め、自信を持って職探しを行えるよう、地域社会で支援を提供しましょう。
- **若者を対象とした進路指導を行う**：地元の高校の進路相談に参加したり、職業体験プログラムを実施したりしましょう。職業に関する知識を教えることで、若い人たちの視野が広がり、将来のキャリアをしっかりと選択できるようになるでしょう。地元のインターアクトやローターアクト・クラブ、または学校との協力を検討してください。

職業研修チーム

ロータリーの職業研修チーム（VTT）は、実地参加を通じて職業奉仕を行う機会を提供しています。職業的な専門知識やスキルを有するメンバーで構成されるチームは、訪問先で自らの知識を深めたり、研修を実施したりします。また、現地の人々や地域社会全体の知識やスキルを高めることで、地域社会の人々が自力で問題を改善できるようになり、持続的な変化がもたらされます。ロータリアンは、VTTプログラムへの参加を通じて、文化交流や国際的な親睦だけでなく、訪問の後にも持続していくような恩恵を残すことができます。

ロータリー財団のグローバル補助金を利用する場合、VTTチームは、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能性と測定可能性という要件を満たす必要があります。グローバル補助金を利用するチームは、ロータリーに関する一般知識、リーダーシップ・スキル、国際経験、重点分野の専門知識を有する少なくとも1名のロータリアンと、該当する重点分野において最低2年の職務経験を有する少なくとも2名のメンバー（ロータリアンであるなしを問わない）で構成する必要があります。グローバル補助金によるVTTに関する詳細は、ウェブサイト（www.rotary.org/ja/grants）をご覧ください。

職業研修チームの活動例

- 米国にあるロータリー地区は、原油流出による環境への影響を調査するために、地区補助金を利用してオーストラリアの地区と互いにVTTチームを派遣しました。原油流出の現場を訪れた両チームは、その影響と復旧作業の効果を調査し、きれいな水を取り戻すために分析結果とアイデアの交換を行いました。
- 南アフリカの地区は、地区補助金を利用して国内にある別の地区にVTTチームを派遣し、現地の教師を対象とした数学、科学、教室運営に関する研修を実施しました。教師と保護者、また地域社会全体からの支援もあり、この研修を通じて、大学進学者の数を増やすことができました。
- 米国の医療従事者から成るVTTチームが、ウガンダの首都カンパラを訪問し、小児心臓外科手術のスキルと術後ケアの専門知識を提供する研修を、地元病院の外科医を対象に実施しました。このVTTプロジェクトは、「母子の健康」の重点分野に一致し、研修によってその恩恵が持続可能なものとなるため、グローバル補助金を利用することができました。

リソース

クラブで職業奉仕を推進するために、以下のリソースや機会をご利用ください。

地区職業奉仕委員長に連絡を取る

地区ガバナーは、職業奉仕の指針とプロジェクトに関する情報をロータリアンに提供する地区職業奉仕委員長を任命することが奨励されています。地区委員長の連絡先は、地区名簿で調べるか、Eメール (rotary.service@rotary.org) でお問い合わせください。

職業奉仕月間に合わせた活動をする

職業奉仕月間である10月は、職業奉仕プロジェクトを実施する絶好の機会です。この手引きに記されているプロジェクトのアイデアもご参照ください。

ロータリーのウェブサイトでは、広告用資料やパワーポイントなど、職業奉仕月間を推進するためのリソースをダウンロードできます。

ニュースレター「職業奉仕の最新情報」の受信登録をする

ニュースレター「職業奉仕の最新情報」は、職業奉仕に関するお知らせとリソースを紹介する無料のニュースレターで、英語のほか、日本語、韓国語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語で受信することができます。受信のお申し込みは、次のウェブサイト、あるいはEメールでご連絡ください。

www.rotary.org/ja/mediaandnews/newsletters/morenewsletters/pages/ridefault.aspx

Eメール: rotary.service@rotary.org.

ロータリー・ショーケース

ロータリーのオンラインツール「ロータリー・ショーケース」で、職業奉仕プロジェクトをご紹介ください（日本語可）。ショーケースでは、プロジェクトの概要や写真を掲載し、オンラインでのディスカッションに参加できるほか、ほかのプロジェクトに参加する機会を探すことができます。また、フェイスブックに掲載情報を転載することも可能です。世界各地のクラブがどのようなプロジェクトを実施しているか、www.rotary.org/ja/showcase からご覧ください。

ご質問・ご意見

国際ロータリーの奉仕担当部 (Rotary Service Department) までご連絡ください。

Eメール: rotary.service@rotary.org



ロータリー奉仕担当部
(Rotary Service Department)
Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698
USA
www.rotary.org

255-JA—(313)